

提出日 2023 年 3 月 14 日

## バーチャル留学成果報告書

## 【参加者A】

所属	経済	学部	経営	学科	3	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2023 年 2 月 27 日 ~ 2023 年 3 月 10 日 (約2週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標 (※200字以上)	オーストラリアは世界的に有名な高等教育機関が多くあり、高い教育水準が認められています。そのため、オーストラリアの大学で学ぶことは、将来のキャリアにおいて大きなメリットになる可能性があります。 また、オーストラリアは多様な文化や自然があり、異なるバックグラウンドを持つ人々が共存する国です。バーチャル留学を通じて、異なる文化や人々と交流し、多様性や国際的な視野を広げることができます。さらに、物理的な移動を伴わずに、自宅から参加することができるため、時間や費用を節約することができます。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など) (※200字以上)	私は2週間コースを選択したので、月曜日から金曜日まで毎日午前中、朝8時から12時までの授業を受けました。最初の週はオーストラリアの大学の校内を見学しました。図書館やカフェ、セカンドハンドショップなどがありました。週一回学外授業があり、動物園とオーストラリアのシドニー湾を観光しました。その他、週一回パワーポイントの発表もあります。自分の故郷の紹介や、オーストラリアに旅行に行ったらどこを観光するかなどを具体的に話しました。
3. 受講の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など) (※300字以上)	1. 言語力の向上: バーチャル留学では、英語を日常的に使用する環境で学ぶことができます。そのため、英語の聞き取りやスピーキングのスキルが向上しました。 2. カルチャーショックの体験: オーストラリアの文化や習慣に触れることで、異文化理解や対人コミュニケーションのスキルが向上しました。 3. 学習内容の充実: 外国の歴史や文化に関する知識が増えました。 4. オンラインコミュニケーション能力の向上: バーチャル留学では、オンライン上でのコミュニケーションが求められます。そのため、オンラインでのコミュニケーションスキルが向上しました。 5. 自己啓発や自己成長の経験: 自主的な学習と自己管理が求められるため、自己啓発や自己成長の機会につながりました。 以上のように、オーストラリアのバーチャル留学を受講した成果として、英語力やカルチャーショックの体験、学習内容の充実、オンラインコミュニケーション能力の向上、自己成長など、様々なものを実感しています。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか (※200字以上)	今回のバーチャル留学の経験はアルバイト先で、外国人のお客様と会話ができるようになるだけでなく、留学で得たスキルや知識、経験をアピールすることで、今後の就職活動においても有利に働くと感じています。異文化理解や多文化コミュニケーションのスキルを磨くことができたため、海外企業や国際的な職場での活躍に役立てることができます。また、グローバルな視野を持ち、世界的なトレンドやニーズに敏感に反応することができます。英語のスキルが向上したことで、海外旅行など英語でのコミュニケーションがスムーズに行えるようになります。
5. 自由記述	先生たちはとても優しいので何か不明なことがあったら、すぐ聞いた方がいいと思います。丁寧に対応してくれるので、安心してください。初めての時は多少緊張感がありますが、2-3日すると慣れると思います。KIUの学生だけではなく、東京の有名な大学の学生と一緒に授業を受けます。みんな優しく、グループで会話することもたくさんあります。すぐ仲良くなれたので、とても嬉しかったです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 10 日

## バーチャル留学成果報告書

## 【参加者B】

所属	経済	学部	国際文化	学科	1	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2023 年 2 月 27 日 ~ 2023 年 3 月 10 日 (約2週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標 (※200字以上)	私は3年生になったら semester 留学に行きたいので、その練習を兼ねて、実際の空気感を味わうためにも、バーチャル留学を受講しようと思いました。バーチャル留学では、三つの目標を持ち、二週間取り組みました。一つ目が、リスニング力の向上、二つ目が、周りの生徒や先生に積極的に話しかけること、三つ目が、最後までやり切るという目標を立て、取り組みました。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など) (※200字以上)	受講内容は、一時間目に、ペアになってそれぞれの自己紹介をしました。そこから、オーストラリアのバーチャルツアーへの参加や、自分たちの飼っているペットについてのディスカッション、オーストラリアの観光スポットのプレゼンテーションなどをしました。また、ブレイクアウトルームというzoomの個別部屋に入り、そのメンバーで問題について話し合ったり、余った時間はお互いの大学のことや、趣味などについて話したりしました。
3. 受講の成果 (※300字以上)	私は、受講する前に三つの目標を立てて、このプログラムに挑みました。結果は、一つ目と三つ目の目標は、達成したと思います。しかし二つ目の、「先生や周りの生徒に積極的に話しかける」という目標は、達成できなかったなと思いました。みんな英語で流暢に話している中、失敗してしまったらどうしようと考えてしまい、積極的に話すことができませんでした。でもそこで、恐れずに実際に話しかけることが大事だということを見つけたので、先生もとてもフレンドリーで、「失敗してもいいから喋りましょう」みたいなスタンスだったので、とてもいい先生だと思いました。また同世代の人がこんなに喋れるということにとっても驚きました。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか (※200字以上)	今後も英語力をつけるために勉強を続けながら、「英語で話す」ということにさらに取り組もうと思いました。神戸国際大学には留学生もたくさんいるので、留学生の方と友達になるのもいいと思います。バーチャルツアーなどで現地の様子を見た時に、オーストラリアはすごくいい場所だと感じました。また同世代の方達が、普通に英語で会話しているのを見て、いい刺激になりました。これからは勉強を頑張ろうと思います。
5. 自由記述	楽しかったです。  【受講前後TOEICスコア】 受講前: 185 受講後:

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

## バーチャル留学成果報告書

## 【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	2	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2023 年 2 月 27 日 ~ 2023 年 3 月 24 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標 (※200字以上)	春休み期間を有効活用し、より実践的な英語学習がしたいと思い参加した。また渡航型のプログラムを希望していたが、抽選に外れてしまったためバーチャル留学に申し込みをした。このプログラムの目的は「自分の立場を相手に伝えられる自己発信型のコミュニケーション能力を高める」である。そして個人目標として、「積極的に発言をする」「授業内容を理解し、オーストラリアの文化を知る」という2つを掲げた。明確な目標を立てたことで4週間のプログラムが有意義なものになったと考える。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など) (※200字以上)	授業内容はあらかじめ配布されたプログラムシートに記載されている通りに行われた。グループやペアに分かれて活動する時間が多いため、たくさん英語を話すことができ、またほかの参加者ともすぐに仲良くなった。先生が用意したプレゼンの説明を聞くだけでなく、毎日違うアクティビティーがあり、楽しく学ぶことができた。  アクティビティー ・バーチャルツアー(大学、動物園、植物園、ビーチ、シドニー) ・プレゼンテーション(個人1回、グループ2回の計3回) ・ミニゲーム(発音、リスニング、クイズなど) ・UOWの生徒との交流(計2回)
3. 受講の成果 (※300字以上)	目標を達成するために「質問をする」ということを心掛けていた。なぜなら、質問ができるということはきちんと話の内容が理解できている証拠であるし、自ら発言ができるということにつながるからだ。わからなかったことをもう一度聞くだけでなく、相手の話を深堀して内容を広げていくこともできたので、私の個人目標は達成できたと思う。  このプログラムで感じたことは、自信をもって話すことの大切さである。参加者の中には、うまくしゃべることができず途中であきらめたり、自信のなさから声が小さくなっていったりしてしまう人がいた。このような人は印象もあまりよくないし、話に興味も湧きにくい。逆に、単語や文法があっているかは別として、はっきりと最後まで伝えようとしている人の意見は聞き手も理解しようと協力的になると感じた。初日でこれに気づいてから、私も後者になれるよう努力できた。話し方や好意的なリアクションの取り方を学べたのは留学プログラムならではの大きな発見だと思う。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか (※200字以上)	テキストで勉強するだけではあまり感じられない英語の楽しさを再確認できたので、この気持ちを保ったままこれからも勉強を続けたいと思う。先生からのアドバイスで、毎日英語に触れることと、日本語の時と英語の時で思考を分けて考えるとよいということを知ったので意識して勉強したい。4週間で言語が上達したかどうかはわからないが、確実に自信になったので受講してよかったと思う。実際に渡航ができる日までしっかりと基礎を固めて準備しておきたい。
5. 自由記述	【受講前後TOEICスコア】 受講前: 705 受講後:

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 27 日

## バーチャル留学成果報告書

## 【参加者D】

所属	経済	学部	経営	学科	1	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2023 年 2 月 27 日 ~ 2023 年 3 月 24 日 ( 選択 )					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標 (※200字以上)	私はオーストラリアという国が大好きで、旅行に行きたいと思っています。でも英語が下手で、勉強したいという気持ちがありました。この授業は基礎レベルだと聞いて申し込みました。受講の目的は英語を学び、全て英語で行う環境を経験することです。私の目標は旅行に行く前に、英語で基本的な会話ができるようになることです。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など) (※200字以上)	オーストラリアの先生は最初に私たちに学校の中を紹介してくれました。その後、動物園など有名なオーストラリアの観光地を案内してくれました。先生は授業中にオーストラリアの文化や言語を紹介するのが好きで、とても親切な先生です。一回目は各自で自分の故郷についてプレゼンテーションをしました。その他にオーストラリアの文化などを発表しました。
3. 受講の成果 (※300字以上)	授業は少し難しく、私のレベルよりかなり上でした。最初は話すのが怖かったですが、先生はずっと私たちのグループに会話をさせて、それから発表という流れでした。その過程で、会話力が少しついたような気がします。これからは英語の勉強を頑張ります。発表の中で、私はオーストラリアの文化などの知識をたくさん身につけました。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか (※200字以上)	私と会話していたオーストラリアの学生は、英語の新聞を読むことで会話力が向上したと話していました。私は英語の新聞を今まで読みませんでしたが、これからは読んでみるつもりです。
5. 自由記述	この英語レッスンは面白いですが、英語の基礎が少しある人が参加するのに向いています。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 26 日

## バーチャル留学成果報告書

## 【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	1	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2023 年 2 月 27 日 ~ 2023 年 3 月 24 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標 (※200字以上)	今回、このウーロンゴン大学の四週間のバーチャル留学に参加をした理由はいくつかあります。まず、このコロナ禍で現地に行き、留学をすることは少し恐怖心がありました。一方で、英語に触れる時間を一日でも長くしたいということがありました。以前、現地の留学でゴールドコーストに行き、オーストラリアの文化や気候、人柄などがとても気に入り、興味を持ちました。だから、その感覚を今回も感じたいと思いました。次に、目的・目標についてですが、目的は、同じクラスで外国の方と一緒に授業ができるのと伺っていたのでとても興味を持っていました。目標は、自分から積極的に発言をすることや授業を理解し、頑張りすぎず気楽に楽しむことです。また、協定大学に感謝をすることです。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など) (※200字以上)	留学の授業内容は、オーストラリアの文化やアボリジニーの人々の独特な歴史、自然の重要性、日本とオーストラリアのビジネスの働き方の違い、オーストラリアの方だけが使っているスラング、オーストラリアの方の英語のアクセントの違い、サーフィンはスポーツの一つであること、世界的な問題である地球温暖化についてなどです。また、一週間に一回プレゼンを行いました。自分が住んでいる町や、オーストラリアの観光地を調べた中で自分が紹介したいところなどについてです。グループでのプレゼンテーションも行いました。オーストラリアのポップカルチャーについてなどです。ウーロンゴン大学生と交流会を行いました。日本とオーストラリアの文化の違いを話しました。ウーロンゴン大学の先生や大学生が、ボタニカルガーデンやオペラハウス、美しいオーストラリアの海や町中のツアーを行ってくださいました。どんな天気の中でも、私たちのために様々なところを紹介してくださいました。本当に感謝しています。
3. 受講の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など) (※300字以上)	今回の留学で、クラスルームの先生に「英語力が伸びたね」や、「一か月前と違うね」など、嬉しい言葉ももらいました。私は、プレゼンの発表の時に英語の文章を作らず、その場で自分が思っていることを発言することを意識していました。それが、先生に良い評価をされたのかと思いました。私が新しく感じたことは、オーストラリアという国は危険な動物もたくさんいますが、それらは町の中にも存在のびのびと生活できているということです。一方で、日本では動物が、すすくとのびのびと生活ができない環境であり、危険な動物は、大切にせず命を絶ててしまっているのが現状と以前に聞いたことがあります。オーストラリアと日本の動物に対する気持ちの持ち方のちがいに驚きました。今回の留学で上智大学や筑波大学の方たちと一緒に学びました。人それぞれ異なった目標を持っていて学んでいることが違うので、ブレイクアウトルームの時に勉強している内容を話したりして、自分の視野を広げることができました。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか (※200字以上)	この四週間のバーチャル留学で身につけたことや学んだこと、英語に対する気持ちを維持し、自分の英語力を低下させないように、これからも諦めずに一歩ずつ前に進んでいきます。英語力を発揮し、肌で文化の違いを感じるために、長期の留学に挑戦をしたいと考えています。また、オンライン英会話を行い、日々英語を使い外国の方とのコミュニケーション能力を高め、さらに大学の英語の授業では自分から積極的に英語で先生と会話をし、英語に触れていく環境を整えて行きます。
5. 自由記述	【受講前後TOEICスコア】 受講前: 370 受講後:

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム  
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない  | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる   |
| 3. どちらでもない    |              |

**1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。**

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

**2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。**

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

**3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。**

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

**4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。**

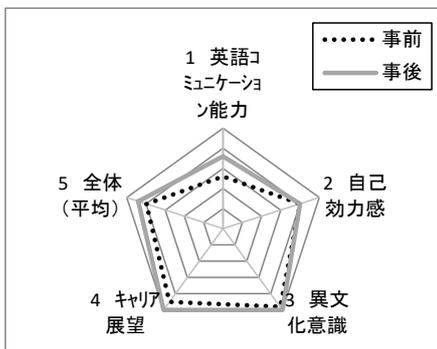
- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まらなくなっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

## 2022年度後期 バーチャル留学 参加前後における意識調査アンケート結果

ウーロンゴン大学（オーストラリア）2週間コース 対象：2名 （2023/2/27-3/10実施）

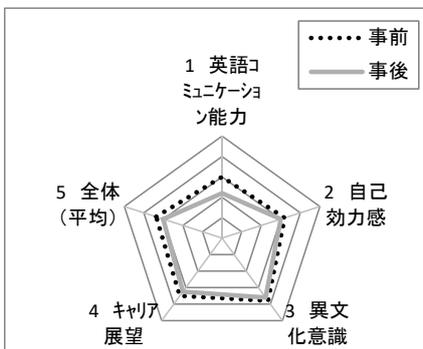
### 【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	3.6
2 自己効力感	4.0	4.0
3 異文化意識	4.8	5.0
4 キャリア展望	4.5	5.0
5 全体（平均）	4.0	4.4



### 【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	2.2
2 自己効力感	3.2	3.0
3 異文化意識	3.8	3.6
4 キャリア展望	3.5	3.3
5 全体（平均）	3.4	3.0

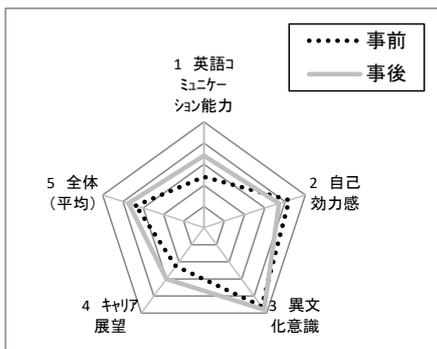


ウーロンゴン大学（オーストラリア）4週間コース 対象：3名 （2023/2/27-3/24実施）

51212066 田原鈴菜

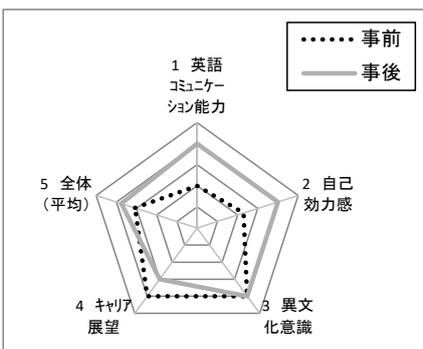
### 【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	3.4
2 自己効力感	4.2	3.7
3 異文化意識	4.6	4.8
4 キャリア展望	2.3	3.0
5 全体（平均）	3.4	3.7



### 【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	4.0
2 自己効力感	2.3	4.0
3 異文化意識	4.0	4.0
4 キャリア展望	4.0	3.0
5 全体（平均）	3.1	3.8



### 【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.6	3.6
2 自己効力感	3.4	3.9
3 異文化意識	4.4	4.8
4 キャリア展望	3.0	3.8
5 全体（平均）	3.6	4.0

